

仙台市長命ヶ丘の地域総合防災研修会で講話しました（2018/11/10）

テーマ：地域防災

場所：宮城県仙台市長命ヶ丘市民センター

11月10日（土）、仙台市長命ヶ丘市民センターにて、当研究所の橋本雅和助教（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）が一般市民を対象に講話を行いました。長命ヶ丘では生涯学習活動の一貫として地域総合防災研修会が行われており、約30名が研修会に参加しました。

橋本雅和助教は、「水災害のための情報収集と日頃の備え」というタイトルで、気象庁が発表している“土砂災害警戒判定メッシュ情報”や“洪水警報の危険度分布”の活用方法について説明した他、身近な河川が過去にどのような危険度分布を示していたのかを説明し、水害を避けるための日頃の備えについて具体的な例を紹介しました。

長命ヶ丘では、1986年（昭和61年）の大雨の際、マンホールの蓋が水で吹き上がる程の浸水が起きていたり、最近の豪雨でも洪水ハザードマップには記載されていない場所で浸水が起こっていたりしたため、参加者から実体験に基づいた水害時の様子を紹介してもらうことで、より具体的な対策事例を紹介することができました。



講話の様子

文責：橋本雅和（災害リスク研究部門）
写真提供：長命ヶ丘市民センター